

**第1章**

**【計画策定の趣旨】**  
 リニア開業までの8年間を重要な時期と捉え、限られた財源の中で社会資本整備を効果的かつ効率的に実施していくため、選択と重点化により整備の方向性を明らかにする。

**【計画の位置づけと期間・対象】**  
 ○計画の位置づけ  
 「総合計画」及び「強靱化計画」の下位計画で、社会資本整備に関する最上位計画。

**【計画の想定事業量】**  
 中長期的な視点から、計画的な社会資本整備の実施や担い手となる人材の確保・育成のため、持続的な公共投資の見通しを示すことを目的に、総合計画に合わせたR4年度までの3年間の想定事業量を掲載する。

○計画期間  
**令和2年度～令和9年度(8年間)**

**第2章**

**【本県の地域特性】** ○地勢・自然 ○立地 ○産業・経済 ○人口・都市

**【現状と課題等】**

**(1) 高速交通時代と地域資源活用への対応**  
 ・中部横断自動車道の開通やリニア開業による、新たな高速交通ネットワークの構築。  
 ・東京オリンピック・パラリンピックの開催やスーパー・メガリージョンの形成による観光資源や地域資源の発展のチャンス到来。  
 ・高速交通ネットワークの構築による効果を県全域に波及させるための整備が必要。  
 ・本県の優れた地域資源を活用し、県内経済の発展に活かすための整備が必要。

**(2) 安全・安心への対応**  
 ・台風などの風水害の激甚化及び富士山噴火・南海トラフ地震等の切迫。  
 ・高齢者の運転や子供が巻き込まれる事故の増加、生活排水処理施設の整備の遅れ。  
 ・災害に対する県土の強靱化を図り、ハード・ソフト両面の対策が必要。  
 ・すべての人が安心して暮らせる生活環境の維持・向上のための整備が必要。

**(3) 持続可能社会への対応**  
 ・インフラの老朽化が進行し、多くの施設の機能喪失危機と維持管理コスト増大の恐れ。  
 ・人口減少が進み、経済規模の縮小や地域コミュニティの弱体化の懸念。  
 ・効果的・効率的なインフラ長寿命化の取り組みが必要。  
 ・人口減少社会の進行に対応した持続可能社会の構築が必要。

**(4) 次代の潮流**  
 ・最新テクノロジーの活用によりもたらされる効果に期待。

**第3章**

**基本理念**

～活力があり快適で、安全安心な  
 やまなしを未来へつなぐ～

交通ネットワークや山梨の持つ豊かな自然をいかし、活力があり、快適な社会が構築されています。

防災減災が進み、県民の生命と財産がまもられ、安心して生活できる社会が構築されています。

インフラが適切に機能するなど、まちをあるべき姿で未来へつなぐ、持続可能な社会が構築されています。

**第4章 重点目標と施策等**

分野	重点目標	施策(主な事業内容)	指標
「いかす」やまなし 活力・快適	リニア開業効果の県全域への波及	施策1 リニア駅アクセスの向上	指標1
		施策2 リニア駅周辺の基盤整備	指標2
	他圏域との連携強化	施策3 高速道路ネットワーク等の整備の促進	
		施策4 県内幹線道路ネットワーク整備の推進	指標3
	県内拠点間の連携強化	施策5 市街地交通の円滑化の推進	指標4
		施策6 渋滞対策の推進	指標5
	地域観光資源の利活用	施策7 観光周遊ネットワーク整備の推進	指標6
		施策8 サイクル王国やまなしの実現	指標7
	活力ある市街地環境の創造	施策9 インフラの価値や魅力の情報発信	
		施策10 市街地整備の推進	指標4
	効率的な森林の施策	施策11 林内路網整備の推進	指標8
		施策12 農地・農業用施設の整備の推進	指標9
「まもる」やまなし 防災・減災	自然災害からの生命・財産の保護	施策13 水害対策の推進	指標10
		施策14 土砂災害・山地災害対策の推進	指標11,12
		施策15 富士山火山防災の推進	
		施策16 インフラの耐震対策の推進	指標13,14
		施策17 住宅・建築物の耐震対策の促進	
		施策18 森林の公益的機能の強化	指標15
	施策19 農村地域の防災・減災対策の推進	指標16	
緊急時の救援活動を支える基盤づくり	施策20 災害時の避難や救援等に備えた道路の整備	指標17,18	
	施策21 災害時応急体制の強化		
地域防災力の強化	施策22 市町村の防災力強化への支援		
	施策23 災害対応力を高めるための人材育成の推進		
安全安心な生活環境の確保	施策24 高次医療機関へのアクセス整備の推進	指標19	
	施策25 道路の安全対策の推進		
	施策26 生活排水処理施設の整備の推進	指標20	
	施策27 道路・河川施設等の長寿命化の推進	指標21,22	
インフラの長寿命化	施策28 林道・治山施設の長寿命化の推進	指標23	
	施策29 農業用施設の長寿命化の推進	指標24	
	施策30 コンパクトなまちづくりの促進		
持続可能なまちづくり	施策31 空き家対策の推進	指標25	
	施策32 良好な景観づくりの推進	指標26	
	施策33		

社会資本整備を効果的に進めるための施策

建設業の担い手の確保・育成

効果的な公共事業の実施

**第5章 計画の進捗管理とフォローアップ**

35の施策において28の評価指標(目標値)を設定。毎年度進捗管理を行い、結果を公表。